

第 8 章

財務分析

- ・ 8-1 共通操作
- ・ 8-2 損益分析シミュレーション
- ・ 8-3 月次比較損益構成グラフ
- ・ 8-4 3期比較損益構成グラフ
- ・ 8-5 3期比較科目別推移グラフ
- ・ 8-6 3期比較経営分析表
- ・ 8-7 総合比較損益計算書
- ・ 8-8 予実対比損益計算書
- ・ 8-9 予測損益計算書
- ・ 8-10 月次比較財務諸表
- ・ 8-11 3期比較財務諸表
- ・ 8-12 部門比較財務諸表
- ・ 8-13 支店比較財務諸表
- ・ 8-14 資金繰実績表
- ・ 8-15 比較推移表
- ・ 8-16 過年度残高登録
- ・ 8-17 予算登録
- ・ 8-18 全科目データ出力

8-1 共通操作

財務分析メニューには以下のような共通機能・設定があります。

※すべての項目が全メニューで表示するわけではありません。

全項目とも随時変更可能です。「純売上高」「売上原価」等の集計科目は、【初期(S)】-【科目設定(3)】の分類に従って集計されます。また、科目ごとに集計・表示される表の科目名および科目順は、【初期(S)】-【科目設定(3)】の試算表 A4 印刷設定に従います。

共通項目

■ 期間選択

分析帳票を作成する期間を選択します。単月をクリックして指定、またはドラッグして複数月を指定します。「決」は通期決算、「・」は四半期決算を表します。

■ 支店選択

本支店管理を行うデータの場合に表示されます。帳票を表示する本支店を選択します。本支店グループを作成すればグループもリストに表示されます。「法人全体」を選択すれば全て合算した全体の集計となります。

■ 部門選択

部門管理を行うデータの場合のみ表示されます。帳票を表示する部門を選択します。部門グループを作成すればグループもリストに表示されます。「選択なし」を選択すれば全て合算した全体の集計となります。

■ 配賦

部門管理を行うデータで、登録した部門を指定した場合に表示されます。チェックを付けると、共通部門の残高が【初期(S)】-【部門設定(2)】で登録された配賦率に基づき選択した部門に配賦されます。

■消費税

残高の表示方法を「税込処理」「税抜処理」から選択します。メニューを開いた直後は【初期(S)】—【基本設定(I)】の消費税タブにある「消費税処理区分」が反映しています。

■集計区分

残高の集計区分を「累計」「発生」から選択します。

■年度選択

「当期」「前期」「前々期」から帳票を表示する年度を選択します。

■補助

補助科目を全て展開して画面に表示する場合は「全表示」を、全て表示しない場合は「全非表示」を選択します。個別に表示／非表示を切り替える場合は勘定科目名左隣のマークをクリックします。

■ゼロ非表示

残高が¥0の勘定科目および補助科目を表示しない場合にチェックを付けます。

■F2:表示設定

金額単位とグラフの表示設定を行います。



単位	金額単位を「円単位」「千円単位」から選択します。「千円単位」を選択した場合は、千円未満の端数処理を「切り捨て」「四捨五入」「切り上げ」から選択します。
種類	リストからグラフの種類を選択します。
3次元効果	「種類」で立体グラフを選択した場合のグラフの角度を設定します。
背景色	グラフの背景色を設定します。
文字色	グラフ内の文字色を設定します。
文字サイズ	リストからグラフ内の文字サイズを選択します。
グリッド線	リストからグラフ内の目盛線(グリッド線)の入れ方を選択します。(X軸は縦を、Y軸は横を表します。)
グラフ色1~4	グラフの色を設定します。

■ F3:元帳

選択科目の元帳へジャンプします。ジャンプ先の元帳は、選択した消費税区分(税込/税抜)および集計区分(累計/発生)で集計された状態になっています。

■ F5:月計表

選択科目の科目残高月計表へジャンプする場合に使用します。

■ F8:印刷

財務諸表関連メニューとグラフ関連のメニューによって[印刷設定]画面が異なります。

財務諸表関連メニューの印刷設定画面



グラフ関連メニューの印刷設定画面

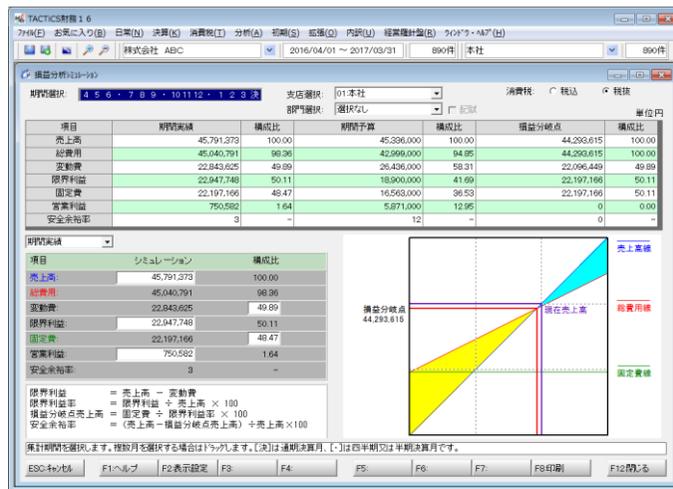


印刷形式	「全科目」「定形」から選択します。選択する印刷形式によって帳票選択欄が変わります。
色指定	「白黒印刷」「カラー印刷」を指定します。カラーで印刷する場合の色指定は「色選択」ボタンを押すと開く「帳票色の選択」画面で行います。
帳票選択	出力する帳票を選択します。印刷形式が「全科目」の場合は「貸借対照表」「損益計算書」のみ、「定形」の場合は全て選択可能です。「製造原価報告書」は【初期(S)】-【基本設定(1)】の製造原価タブにある「製造原価報告書を印刷する」にチェックが付いている場合に表示されます。
用紙選択	「A3」「A4(縮小)」または「A4」「A3(拡大)」から選択します。
明細行幅	印刷形式が「全科目」の場合に選択できます。1ページの印刷行数を「広い」(40行)・「標準」(50行)・「狭い」(65行)から選択します。
プレビュー	選択帳票の印刷イメージを画面に表示する場合に使用します。
コピー	選択帳票をクリップボードへコピーする場合に使用します。コピーされた情報は、Excel等を起動して貼り付けることができます。
Excel	選択帳票をExcelにコピーする場合に使用します。

8-2 損益分析シミュレーション

【分析(A)】—【損益分析シミュレーション(1)】

損益分岐点と売上高、固定費、変動費、総費用等の期間実数値より、目標売上・目標利益等のシミュレーションを行うことができます。



上表に期間実数値が表示されます。「変動費」「固定費」は、【初期(S)】—【科目設定(3)】の固定・変動区分でそれぞれ「変動」「固定」が選択されている科目が集計されます。

シミュレーション方法

- ①どの値を使ってシミュレーションを行うか、「期間実績」「期間予算」「損益分岐点」から選択します。
- ②選択した基準値より画面左下のシミュレーション枠に値がセットされます。
- ③売上高、変動費率、限界利益、固定費率、営業利益の値を変更します。
- ④値を変更するとシミュレーションされ、同時に右側のグラフも再作成されます。

8-3 月次比較損益構成グラフ

【分析(A)】-【月次比較損益構成グラフ(2)】

損益構成の月次比較のグラフを参照します。



■グラフ表示

「12ヶ月」を選択すると横軸を12ヶ月分取ります。「指定月」を選択すると、横軸は期間選択で指定した月数分となります。

8-4 3期比較損益構成グラフ

【分析(A)】-【3期比較損益構成グラフ(3)】

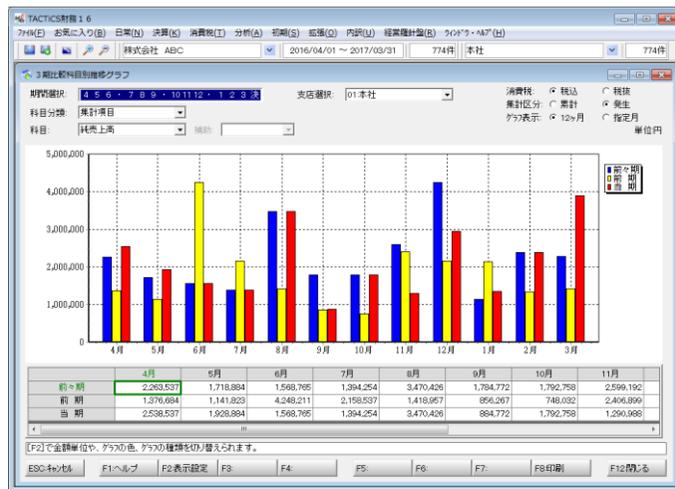
3期比較の損益構成グラフを参照します。3期の表示順は【ファイル(F)】-【環境設定を開く(E)】の出力設定タブで変更できます。



8-5 3期比較科目別推移グラフ

【分析(A)】-【3期比較科目別推移グラフ(4)】

科目または集計科目の推移を当期、前期、前々期で比較します。3期の表示順は【ファイル(F)】-【環境設定を開く(E)】の出力設定タブで変更できます。



■科目分類

「集計項目」「勘定科目」をリストから選択します。「集計項目」を選択すると、「科目」欄のリストには「純売上高」から「経常利益」までの集計項目が表示されます。「勘定科目」を選択すると、「科目」欄のリストには、【初期(S)】-【科目設定(3)】で「使用する」設定になっている科目が表示されます。

■科目

「科目分類」欄で「集計項目」を選択した場合は、「純売上高」から「経常利益」までの集計項目が表示されます。「科目分類」欄で「勘定科目」を選択した場合は、【初期(S)】-【科目設定(3)】で「使用する」設定になっている科目が表示されます。

■グラフ表示

「12ヶ月」を選択すると横軸を12ヶ月分取ります。「指定月」を選択すると、横軸は期間選択で指定した月数分となります。

8-6 3期比較経営分析表

【分析(A)】-【3期比較経営分析表(5)】

3期比較で経営状態を「収益力」「活動性」「安全性」「費用効率」「生産性」の5つの角度から分析し、利益率や回転数を自動計算して経営分析表を作成します。3期の表示順は【ファイル(F)】-【環境設定を開く(E)】の出力設定タブで変更できます。

分析項目	前々期	前期	前期比	当期	前期比	動向
売上総利益率	37.5%	39.9%	103.7%	45.9%	118.0%	良好
売上高営業利益率	5.0%	6.8%	136.0%	16.0%	236.3%	良好
売上高経常利益率	4.6%	6.1%	110.9%	14.6%	299.2%	良好
総資本営業利益率	2.3%	2.5%	106.7%	6.5%	280.0%	良好
総資本経常利益率	2.1%	1.9%	90.5%	6.0%	315.8%	良好
自己資本経常利益率	3.9%	3.4%	87.2%	10.6%	311.8%	良好
総資本回転率	0.5回	0.4回	80.0%	0.4回	100.0%	-
総資本回転日数	730.0日	912.5日	125.0%	912.5日	100.0%	-
流動資産回転率	0.5回	0.4回	80.0%	0.4回	100.0%	-
流動資産回転日数	730.0日	912.5日	125.0%	912.5日	100.0%	-
固定資産回転率	5.4回	4.8回	88.9%	6.4回	133.3%	良好
固定資産回転日数	67.6日	76.0日	112.4%	57.0日	75.0%	-
受取債権回転率	1.5回	1.6回	76.9%	1.3回	110.0%	良好
受取債権回転日数	260.0日	265.0日	100.0%	301.8日	90.9%	-
支払勘定回転率	1.6回	1.3回	81.3%	1.4回	107.7%	良好
支払勘定回転日数	228.1日	290.8日	123.1%	290.7日	92.8%	-
流動比率	196.6%	205.7%	103.6%	215.3%	104.7%	-
当座比率	178.0%	185.7%	104.3%	183.1%	104.0%	-
固定長期適合率	15.3%	13.8%	89.9%	11.2%	81.2%	注意
自己資本対固定資産比率	15.7%	13.6%	87.0%	11.2%	81.2%	注意
自己資本比率	53.9%	55.1%	102.2%	56.5%	102.5%	-
損益分岐点売上高	23,089,241円	17,640,369円	76.4%	16,556,745円	94.1%	良好
売上高対当座流動比率	1.6%	2.1%	131.3%	1.6%	76.0%	良好

■集計科目登録

経営分析に必要な集計科目を定義します。ボタンを押すと【集計科目の登録】画面が表示されます。

集計科目: 受取債権

勘定科目: 1141 受取手形
 1142 売掛金
 1146 有価証券

右の勘定科目リストより集計対象の勘定科目を選択(□)チェックして下さい。

右の勘定科目リストより集計対象の勘定科目を選択(□)チェックして下さい。

OK キャンセル

■従業員数登録

3期における各月の従業員数を登録します。ボタンを押すと[従業員数の登録]画面が表示されます。

■計算式

[収益力]

売上総利益率 = 売上総利益 ÷ 純売上高 × 100

売上高営業利益率 = 営業利益 ÷ 純売上高 × 100

売上高経常利益率 = 経常利益 ÷ 純売上高 × 100

総資本営業利益率 = 営業利益 × (12 ÷ N) ÷ 総資本 × 100

総資本経常利益率 = 経常利益 × (12 ÷ N) ÷ 総資本 × 100

自己資本経常利益率 = 経常利益 × (12 ÷ N) ÷ 自己資本 × 100

[活動性]

総資本回転率 = 純売上高 × (12 ÷ N) ÷ 総資本

総資本回転日数 = 365 ÷ 総資本回転率

流動資産回転率 = 純売上高 × (12 ÷ N) ÷ 流動資産計

流動資産回転日数 = 365 ÷ 流動資産回転率

固定資産回転率 = 純売上高 × (12 ÷ N) ÷ 固定資産計

固定資産回転日数 = 365 ÷ 固定資産回転率

受取債権回転率 = 純売上高 × (12 ÷ N) ÷ (受取手形 + 売掛金)

受取債権回転日数 = 365 ÷ 受取債権回転率

支払勘定回転率 = 仕入高 × (12 ÷ N) ÷ (支払手形 + 買掛金)

支払勘定回転日数 = 365 ÷ 支払勘定回転率

[安全性]

流動比率＝流動資産計÷流動負債計×100

当座比率＝当座資産計÷流動負債計×100

固定長期適合率＝固定資産÷(総資本－流動負債)×100

自己資本対固定資産率＝固定資産÷純資産の部計×100

自己資本比率＝純資産の部計÷総資本×100

損益分岐点売上高＝固定費÷(1－変動費÷純売上高)

[費用効率]

売上高対支払利息比率＝(支払利息割引料－受取利息割引料)÷純売上高×100

売上高対販管費比率＝販管費一般管理費÷純売上高×100

売上高対人件費比率＝人件費÷純売上高×100

人件費計合計＝人件費合計

従業員延人数＝指定期間の従業員延べ人数

[生産性]

付加価値＝(純売上高－売上原価－当期製造原価＋材料費＋外注加工費)

労働分配率＝人件費÷付加価値

一人当たり売上高＝純売上高÷延べ従業員数

一人当たりに人件費＝人件費÷延べ従業員数

一人当たり販管費＝販管費÷延べ従業員数

一人当たり経常利益＝経常利益÷延べ従業員数

一人当たり資本集約度＝総資本÷(延べ従業員数÷N)

一人当たり労働装備率＝(有形固定資産－建設仮勘定)÷(延べ従業員数÷N)

※Nは期間選択における選択月数です。

■動向

収益力、活動性、安全性、生産性	費用効率
～99% 注意	～99% 良好
99～105% 表示なし	99～105% 表示なし
106%～ 良好	106%～ 注意

8-7 総合比較損益計算書

【分析(A)】—【総合比較損益計算書(6)】

選択期間の累計額を前期と比較します。また、各月の発生額が表示されます。集計された金額から元帳にジャンプして明細を確認することができます。過年度仕訳を取り込んでいる場合には、過年度元帳へジャンプすることも可能です。

科目名称	当期累計	前期末計	増減額	前期比	16年4月	16年5月	16年6月
売上	24,294,892	20,904,340	3,390,552	116.7	2,328,537	1,928,884	1,187,471
売上	1,050,000	500,000	550,000	210.0	210,000	0	0
売上返品・値引	0	0	0	-	0	0	0
純売上高	25,444,692	21,404,340	4,040,352	118.9	2,538,537	1,928,884	1,187,471
消費税戻金取扱額	513,548	1,485,372	△971,824	34.6	0	0	0
仕入	12,945,795	12,106,465	740,228	108.1	881,247	1,828,500	0
外注費	1,133,452	820,645	302,807	139.5	0	0	0
仕入返品・値引	0	0	0	-	0	0	0
期末商品取扱額	726,534	1,345,692	△619,158	54.0	0	0	0
売上原価	13,767,262	13,076,793	690,469	105.3	881,247	1,828,500	0
売上総利益	11,677,431	8,327,547	3,349,884	140.2	1,657,290	100,384	0
役員報酬	0	0	0	-	0	0	0
給料手当	3,390,104	3,553,503	△163,399	95.4	250,799	250,799	0
法定福利費	195,129	190,428	4,701	102.5	23,646	11,823	0
福利厚生費	0	0	0	-	0	0	0
賞与引当金繰入額	0	0	0	-	0	0	0
退職給付引当金繰入額	0	0	0	-	0	0	0
広告宣伝費	43,000	60,730	△17,730	70.8	0	16,600	0
燃料費	0	0	0	-	0	0	0
車両維持費	0	0	0	-	0	0	0

8-8 予実対比損益計算書

【分析(A)】-【予実対比損益計算書(7)】

選択期間の予算と実績を比較し、比率を参照します。予算は【分析(A)】-【予算登録(F)】で登録します。集計された金額から元帳にジャンプして明細を確認することができます。

科目名称	4月計画	4月実績	増減率	5月計画	5月実績	増減率
売上	3,520,000	3,510,516	99.8	4,114,000	4,256,221	103.5
売上	110,000	194,445	176.8	0	0	-
売上-返品-値引	0	0	-	0	0	-
純売上	3,636,000	3,712,961	102.1	4,114,000	4,256,221	103.5
税金商品製造損取戻	0	0	-	0	0	-
仕入	1,371,000	1,320,973	100.0	2,396,000	2,544,596	95.4
外注費	0	264,824	-	0	0	-
仕入-返品-値引	0	0	-	0	0	-
当期製造原価	0	2,874,985	-	0	3,180,288	-
税金商品製造損取戻	0	0	-	0	0	-
売上原価	1,271,000	4,523,732	356.0	2,396,000	5,224,764	220.8
売上粗利益	2,365,000	2,391,771	101.2	1,718,000	2,366,443	138.0
役員報酬	915,000	400,000	43.8	915,000	400,000	43.8
給料手当	525,000	600,000	114.3	525,000	600,000	114.3
法定福利費	24,000	83,200	346.7	12,000	0	0.0
福利厚生費	12,000	12,088	100.7	12,000	13,426	111.9
貸倒引当金繰入額	0	0	-	0	0	-
退職給付引当金繰入額	0	0	-	0	0	-
広告宣伝費	0	0	-	17,000	0	0.0
経常利益	0	0	-	0	0	-

8-9 予測損益計算書

【分析(A)】-【予測損益計算書(8)】

実績月を指定すると、翌月以降を「移動平均法」「前年対比」「増減率」「予算」の 4 種類の予測方法で予測・シミュレーションをします。予測値は手入力で修正できます。

科目名称	16年 4月	16年 5月	16年 6月	16年 7月	16年 8月	16年 9月
売上	3,518,516	3,294,142	3,342,828	3,395,162	3,340,711	3,256,234
売上返品(値引)	194,445	141,976	112,140	149,520	134,545	132,066
純売上	3,324,071	3,152,166	3,230,688	3,245,642	3,206,166	3,124,168
販売手数料	0	0	0	0	0	0
仕入	1,383,973	1,259,872	1,442,946	1,462,264	1,488,961	1,464,524
仕入返品(値引)	264,824	88,275	117,700	156,633	120,969	131,897
当期製造原価	2,674,965	958,312	1,277,749	1,703,665	1,313,242	1,431,253
期末製造原価増減	0	561,085	748,114	436,400	581,866	588,790
売上原価	4,523,732	2,833,498	3,141,113	3,499,447	3,158,020	3,266,195
売上総利益	△1,205,711	920,620	919,855	35,235	917,236	222,107
営業総損	400,000	333,333	344,444	359,259	345,679	349,794
経手手数料	600,000	533,333	544,444	559,259	545,679	549,794
法定福利費	83,200	38,855	51,806	57,964	49,538	53,099
福利厚生費	12,038	11,421	11,524	11,661	11,535	11,573
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	0
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0

■実績月

実績の最終月を選択します。指定月以降が予測対象期間となります。

■予測方法

会計期間が 1～12 月で実績月を 3 月とした場合、4 月以降を以下の 4 種類の方法で予測します。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
当年	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l
前年	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し

【移動平均法】

前 3 ヶ月の平均値を当月の予測値とします。

$$4 \text{ 月の予測値} \quad d = (a + b + c) \div 3$$

$$\begin{array}{ll} 5月の予測値 & e = (b + c + d) \div 3 \\ 6月の予測値 & f = (c + d + e) \div 3 \end{array}$$

【前年対比】

前年と当年の期首月から指定月までの累計金額の比率に、前年の数値を乗じた結果を当年の予測値とします。

$$(a + b + c) \div (あ+い+う) = Y$$

$$\begin{array}{ll} 4月の予測値 & え \times Y \\ 5月の予測値 & お \times Y \\ 6月の予測値 & か \times Y \end{array}$$

【増減率指定】

[増減率の入力]画面に設定した増減率に、前年の数値を乗じた結果を当年の予測値とします。

設定した増減率 = Z

$$\begin{array}{ll} 4月の予測値 & え \times Z \\ 5月の予測値 & お \times Z \\ 6月の予測値 & か \times Z \end{array}$$

【予算】

【分析(A)】-【予算登録(F)】で登録した値を予測値とします。

■直接入力する

予測値を手入力する場合にチェックを付けます。手入力後にメニューを閉じる時に手入力値の保存確認画面が表示されます。

■科目計算方法

科目と補助を別に予測する場合は「個別」を、補助の予測の合計を科目の予測とする場合は「積上」を選択します。

■F7:復元

保存済みの手入力予測値を復元する場合に使用します。

8-10 月次比較財務諸表

【分析(A)】-【月次比較財務諸表(9)】

残高の推移が月別に集計・表示されます。当期、前期、前々期でそれぞれ貸借対照表、損益計算書の月次比較が確認できます。集計された金額から元帳にジャンプして明細を確認することができます。過年度仕訳を取り込んでいる場合には、過年度元帳へジャンプすることも可能です。

科目名称	16年 4月	16年 5月	16年 6月	16年 7月	16年 8月	16年 9月
現金	298,482	△249,714	△119,180	△65,967	△52,243	△218,973
小口現金	0	0	0	0	0	0
当座預金	6,726,966	9,756,891	10,865,133	11,965,949	14,201,204	13,841,014
普通預金	16,067,845	13,742,515	10,822,341	9,841,082	10,607,655	11,383,323
通知預金	2,625,990	2,625,990	2,625,990	2,625,990	2,625,990	2,625,990
積立預金	0	0	0	0	0	0
定期預金	2,703,165	2,703,165	2,703,165	2,703,165	2,703,165	2,703,165
定期積金	1,790,000	1,800,000	1,810,000	1,820,000	1,830,000	1,840,000
受取手形	2,619,589	240,602	1,528,969	1,880,295	1,237,703	1,385,970
売掛金	16,090,410	16,390,410	16,390,410	16,564,390	15,764,390	17,272,390
未収入金	250,000	250,000	0	0	0	0
前借仕掛	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
当座資産合計	49,772,467	47,892,859	47,129,825	47,634,654	49,418,134	51,342,849
商品	1,693,256	1,693,256	1,693,256	1,693,256	1,693,256	1,693,256
製品	0	0	0	0	0	0
半製品	0	0	0	0	0	0
原材料	0	0	0	0	0	0
仕掛品	0	0	0	0	0	0
貯蔵品	0	0	0	0	0	0
繰前資産合計	1,693,256	1,693,256	1,693,256	1,693,256	1,693,256	1,693,256

8-11 3期比較財務諸表

【分析(A)】-【3期比較財務諸表(A)】

選択期間の当期、前期、前々期残高が表示されます。貸借対照表、損益計算書を構成比、増減額、前期比、当期期首からの増減率で比較参照できます。集計された金額から元帳にジャンプして明細を確認することができます。過年度仕訳を取り込んでいる場合には、過年度元帳へジャンプすることも可能です。

科目名称	前々期	構成比	前期	構成比	増減額	前期比	当期	構成比
現金	200,000	1.0	1,121,055	2.9	921,055	560.5	△722,000	0.0
△ 当座預金	3,000,000	15.5	2,751,000	7.2	△249,000	91.7	3,602,700	7.8
△ 普通預金	2,600,000	13.4	5,320,300	13.9	2,720,300	204.6	5,592,700	12.1
△ 定期預金	400,000	2.1	4,400,000	11.5	4,000,000	1100.0	6,400,000	13.8
△ 定期積立	700,000	3.6	200,000	0.5	△500,000	28.6	200,000	0.4
中心金	0	-	22,200	0.1	22,200	-	33,400	0.1
変更手形	1,000,000	5.2	300,000	0.8	△700,000	30.0	300,000	0.6
△ 売掛金	3,600,000	18.6	6,410,500	16.7	2,810,500	178.1	11,882,000	25.7
有価証券	500,000	2.6	500,000	1.3	0	100.0	500,000	1.1
当座資産合計	12,000,000	62.0	21,025,055	54.8	9,025,055	175.2	27,788,450	60.1
商品	200,000	1.0	200,000	0.5	0	100.0	200,000	0.4
製品	300,000	1.6	300,000	0.8	0	100.0	300,000	0.6
半製品	0	-	0	-	0	-	0	-
原材料	0	-	0	-	0	-	0	-
仕掛品	0	-	0	-	0	-	0	-
貯蔵品	0	-	0	-	0	-	0	-
繰引資産合計	500,000	2.6	500,000	1.3	0	100.0	500,000	1.1
前借金	0	-	0	-	0	-	0	-
前払費用	0	-	0	-	0	-	0	-
繰越剰余金	0	-	0	-	0	-	0	-

8-12 部門比較財務諸表

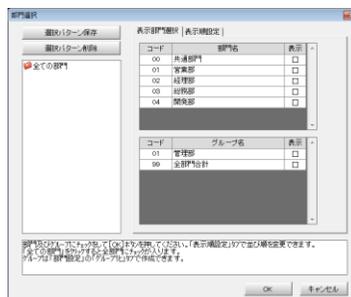
【分析(A)】-【部門比較財務諸表(B)】

選択期間の貸借対照表、損益計算書を部門別に参照します。集計された金額から元帳にジャンプして明細を確認することができます。過年度仕訳を取り込んでいる場合には、過年度元帳へジャンプすることも可能です。

科目名称	00 共通部門	0001 営業部	0002 管理部	0003 開発部	0004 広報部
売上高	0	19,752,066	4,938,017	14,814,050	9,876
売上債引原高	0	0	0	0	0
売上戻高	0	19,752,066	4,938,017	14,814,050	9,876
前借組込高	0	0	0	0	0
仕入高	0	5,472,200	1,398,050	4,104,150	2,736
仕入債引原高	0	0	0	0	0
当期取込原価	0	0	0	0	0
前借組込高	0	0	0	0	0
売上原価	0	5,472,200	1,398,050	4,104,150	2,736
売上総利益	0	14,279,866	3,539,967	10,709,900	7,159
販売員給与	0	0	0	0	0
営業交通費	0	4,480	1,150	3,300	2
広告宣伝費	0	306,480	76,620	229,860	153
寄附金等	0	0	0	0	0
販売配送費	0	2,840	710	2,130	1
販売手数料	0	0	0	0	0
役員賞与	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0
給与	0	8,598,200	2,146,550	6,439,650	4,299
繰上					
繰下					

■ 部門選択

メニューを開く時に必ず表示されます。表示する部門および部門グループを選択します。選択パターンの保存や、部門表示順の調整をすることができます。一枚に印字される部門は最大 13 部門(共通部門含む)です。



8-13 支店比較財務諸表

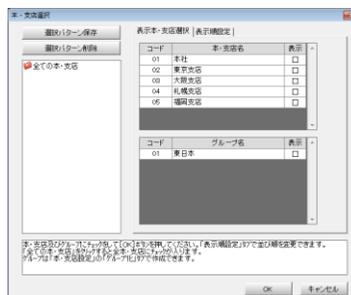
【分析(A)】-【支店比較財務諸表(D)】

選択期間の貸借対照表、損益計算書を支店別に参照します。集計された金額から元帳にジャンプして明細を確認することができます。過年度仕訳を取り込んでいる場合には、過年度元帳へジャンプすることも可能です。

科目名称	01 本社	02 東京支店	03 大阪支店	04 札幌支店	05 福岡支店
現金	11,294,922	0	0	0	0
小口現金	0	0	0	0	0
当座預金	15,182,957	0	0	0	0
普通預金	13,439,270	0	0	0	0
通知預金	2,625,990	0	0	0	0
定期預金	0	0	0	0	0
定期積立	2,703,165	0	0	0	0
定期株金	1,670,000	0	0	0	0
受取手形	1,786,228	0	0	0	0
売掛金	18,190,910	0	0	0	0
未収入金	0	0	0	0	0
負債証券	500,000	0	0	0	0
当座貸付合計	68,192,455	0	0	0	0
商品	1,543,570	0	0	0	0
半製品	0	0	0	0	0
原材料	0	0	0	0	0
仕掛品	0	0	0	0	0
貯蔵品	0	0	0	0	0

■支店選択

メニューを開く時に必ず表示されます。表示する本支店および本支店グループを選択します。選択パターンの保存や、本支店表示順の調整をすることができます。一枚に印字される本支店は最大 13 支店です。



8-14 資金繰実績表

【分析(A)】-【資金繰実績表(C)】

入力した仕訳データに基づいて月単位に集計された資金繰りの実績が表示されます。

資金繰項目	16年 4月	16年 5月	16年 6月	16年 7月	16年 8月	16年 9月	16年 10月	16年 11月
【前月繰越】	25,390,244	25,719,202	25,878,682	24,194,204	24,467,004	27,282,908	27,641,254	28,000,000
現金売上	3,206,996	3,994,256	2,942,211	2,431,602	4,718,957	2,450,000	2,150,000	2,150,000
売掛金回収	0	0	0	36,050	1,500,000	0	15,450	0
受取手形期日簿	1,315,809	1,131,259	1,179,933	0	0	500,000	775,459	0
未収入金	0	0	350,000	0	0	0	0	0
前受金	0	0	0	0	0	0	0	0
受取利息・配当金	0	0	0	0	0	0	0	0
その他営業外収入	0	34,500	0	15,400	0	0	0	0
その他の収入	661,000	250,000	355,000	819,042	911,206	277,429	283,917	0
引当	5,398,205	5,406,115	4,834,144	3,302,095	7,130,350	3,227,409	3,224,598	0
現金仕入	974,000	680,000	1,846,752	688,000	1,043,396	1,023,260	688,000	0
買掛金支払	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手形決済	1,064,759	0	866,520	96,717	980,000	350,000	192,630	0
未払金・未払費用	16,870	16,870	16,870	0	17,045	16,870	16,870	0
前払金	0	0	0	0	0	0	0	0
控除経費	0	0	508,659	0	0	0	0	0
印刷経費	28,082	503,642	11,160	0	0	0	0	0
人件費	2,414,774	2,283,791	1,595,291	1,177,400	1,099,200	1,012,500	1,179,400	0
販売費・一般管理費	476,214	1,322,507	581,795	458,660	290,929	435,775	392,547	0

■期間選択

集計する期間を選択します。必ず期首月から集計します。

集計対象について

資金繰実績表は【初期(S)】-【科目設定(3)】で勘定科目ごとに設定した「借方資金繰」「貸方資金繰」に従って集計されます。相手科目の資金繰項目が「99:流動性現預金」の場合に、自科目の資金繰項目に金額が集計されます。

例

科目設定で「現金」に「99:流動性現預金」、売上に「11:現金売上」と設定している場合、借方「現金」/貸方「売上」という仕訳を入力すると、資金繰実績表の資金繰項目「現金売上」に金額が反映します。

8-15 比較推移表

【経営羅針盤(R)】-【比較推移表(3)】

任意の項目を比較しながら12ヶ月間の月次推移を確認します。科目ごとに最大で3段に分けて任意の項目を割り当てられます。上段・中段には「当期」「前期」「前々期」「予算」、下段にはさらに「差額」「比率」の指定ができます。最大10パターンの帳票を作成できます。集計された金額から元帳にジャンプして明細を確認することができます。過年度仕訳を取り込んでいる場合には、過年度元帳へジャンプすることも可能です。

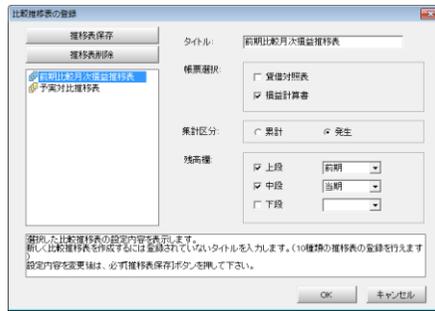
科目名称		4月	5月	6月	7月	8月
現金	当期	1,196,452	653,296	790,820	834,043	847,757
	前期	899,864	1,123,831	1,121,512	1,100,902	1,295,641
	前々期	2,059,136	2,103,395	1,891,309	1,590,536	1,545,895
小口現金	当期	0	0	0	0	0
	前期	0	0	0	0	0
	前々期	0	0	0	0	0
△ 当座預金	当期	6,726,966	9,756,891	10,895,133	11,965,949	14,201,204
	前期	5,740,368	6,438,692	6,456,086	6,538,926	6,842,470
	前々期	5,894,003	6,726,298	6,846,003	7,169,970	7,710,621
△ 普通預金	当期	10,097,945	13,742,515	10,622,341	9,941,082	10,607,355
	前期	10,215,368	11,216,681	11,120,278	11,145,478	11,178,456
	前々期	8,678,268	8,642,481	8,508,978	8,497,078	8,492,966
通知預金	当期	2,625,990	2,625,990	2,625,990	2,625,990	2,625,990
	前期	1,837,120	1,874,980	1,874,980	1,874,980	1,874,980
	前々期	1,837,120	1,874,980	1,874,980	1,874,980	1,874,980
納付預金	当期	0	0	0	0	0
	前期	0	0	0	0	0
	前々期	0	0	0	0	0
	当期	2,703,166	2,703,166	2,703,166	2,703,166	2,703,166

■帳票選択

リストから画面に表示する帳票を選択します。

■帳票の登録

比較推移表のレイアウトを変更する場合や、新たな帳票を作成する場合に使用します。ボタンを押すと[比較推移表の登録]画面が表示されます。



タイトル	比較推移表タイトルを全角 15 文字以内で設定します。既存の名前を変更して「推移表保存」または「OK」を押すと新しい帳票として追加されます。
帳票選択	作成する帳票を選択します。
集計区分	残高の集計区分を「累計」「発生」から選択します。
残高欄	「上段」「中段」「下段」に比較対象項目を設定します。上段・中段には「当期」「前期」「前々期」「予算」、下段にはさらに「差額」「比率」の指定ができます。「差額」とは「上段」-「中段」、「比率」とは「上段」÷「中段」×100 です。
推移表保存	推移表の設定を保存する場合に使用します。
推移表削除	登録済みの推移表を削除する場合に使用します。

■ 期間選択

比較推移表を表示する期間を選択します。

■ 補助

補助科目を全て展開して画面に表示する場合は「全表示」を、全て表示しない場合は「全非表示」を選択します。個別に表示／非表示を切り替える場合は勘定科目名左隣のマークをクリックします。

■ ゼロ非表示

残高が¥0 の勘定科目および補助科目を表示しない場合にチェックを付けます。

■ 支店選択

本支店管理を行うデータの場合に表示されます。帳票を表示する本支店を選択します。本支店グループを作成すればグループもリストに表示されます。「法人全体」を選択すれば全て合算した全体の集計となります。

■ 部門選択

部門管理を行うデータの場合のみ表示されます。帳票を表示する部門を選択します。部門グループを作成すればグループもリストに表示されます。「選択なし」を選択すれば全て合算した全体の集計となります。

■ 配賦

部門管理を行うデータで登録した部門を指定した場合には表示されます。チェックを付けると、共通部門の残高が【初期(S)】-【部門設定(2)】で登録された配賦率に基づき選択した部門に配賦されます。

■ 消費税

残高の表示方法を「税込処理」「税抜処理」から選択します。メニューを開いた直後は【初期(S)】-【基本設定(1)】の消費税タブにある「消費税処理区分」が反映しています。

■ 集計区分

残高の集計区分を「累計」「発生」から選択します。

■ F2: 表示設定

金額単位とグラフの表示設定を行います。

分析表示設定

金額設定
単位: 円 (切捨 四捨五入)

グラフ設定
種類: 3Dグラフ
3次元効果: 20%
背景色: [黒] 変更
文字色: [黒] 変更
文字サイズ: 中
グリッド線: X軸・Y軸
グラフ色1: [青] 変更
グラフ色2: [黄] 変更
グラフ色3: [赤] 変更
グラフ色4: [青] 変更

各種分析帳票の金額単位を選択します。
千円を単位とした場合は千円未満の扱いを選択します。
全ての分析メニューに共通する設定です。

OK キャンセル

単位	金額単位を「円単位」「千円単位」から選択します。「千円単位」を選択した場合は、千円未満の端数処理を「切り捨て」「四捨五入」「切り上げ」から選択します。
種類	リストからグラフの種類を選択します。
3次元効果	「種類」で立体グラフを選択した場合のグラフの角度を設定します。
背景色	グラフの背景色を設定します。
文字色	グラフ内の文字色を設定します。
文字サイズ	リストからグラフ内の文字サイズを選択します。
グリッド線	リストからグラフ内の目盛線(グリッド線)の入れ方を選択します。(X軸は縦を、Y軸は横を表します。)
グラフ色1~4	グラフの色を設定します。

■F3:元帳

選択科目の元帳へジャンプします。ジャンプ先の元帳は、選択した消費税区分(税込/税抜)および集計区分(累計/発生)で集計された状態になっています。

■F5:月計表

選択科目の科目残高月計表へジャンプする場合に使用します。

■F8:印刷

選択中の帳票を印刷する場合に使用します。ボタンを押すと[印刷設定]画面が表示されます。



印刷形式	「全科目」の指定となります。
用紙選択	「A3」「A4(縮小)」から選択します。
帳票選択	出力する帳票を選択します。
部門選択	部門管理を行うデータの場合に表示されます。帳票を印刷する部門を選択します。「全部門合計」を選ぶと全社の帳票を作成できます。
色指定	「白黒印刷」「カラー印刷」を指定します。カラーで印刷する場合の色指定は「色選択」ボタンを押すと開く[帳票色の選択]画面で行います。
明細行幅	1ページの印刷行数を「広い」(40行)・「標準」(50行)・「狭い」(65行)から選択します。
補助科目行	補助科目行の色指定を変更する場合に使用します。「区別なし」「文字色を変更」「背景色を変更」から選択します。
プレビュー	選択帳票の印刷イメージを画面に表示する場合に使用します。
コピー	選択帳票をクリップボードへコピーする場合に使用します。コピーされた情報は、Excel等を起動して貼り付けることができます。
Excel	選択帳票をExcelにコピーする場合に使用します。

8-16 過年度残高登録

【分析(A)】-【過年度残高登録(E)】

前期、前々期の各月末残高を登録します。期中開始の場合は開始月の前月までの残高を登録します。補助や部門の設定がある場合は、それぞれを単位として残高を登録します。

残高を登録することにより、二期比較試算表などの過年度比較帳票が作成できます。

仕訳取込を行うと、分析帳票・仕訳帳・元帳から前期・前々期の仕訳明細が確認できるようになります。

仕訳取込実行後は整合性を保つため残高の手入力は不可となります。

最終列の残高は期首残高に連動しています。

科目名称	コード	期初残高	14年 4月	14年 5月	14年 6月	10決算	14年 7月
現金	101	1852020	869,884	1,123,831	1,121,512	1,121,512	1,100
小口現金	108	0	0	0	0	0	0
当座預金	111	5,993,798	5,743,368	6,420,692	6,455,098	6,455,098	6,535
■ 日本銀行	001	701,806	2,482,376	3,180,699	3,198,093	3,198,093	3,200
■ 信用金庫	002	678,000	678,000	678,000	678,000	678,000	678
UFJ銀行	003	0	0	0	0	0	0
その他	999	4,579,993	2,579,993	2,579,993	2,579,993	2,579,993	2,570
普通預金	131	1,241,327	10,215,368	11,216,681	11,120,278	11,120,278	11,145
■ 日本銀行	001	5,262,512	7,243,332	8,342,572	8,231,501	8,231,501	8,256
UFJ銀行	002	402,806	406,027	410,100	424,768	424,768	424
その他	999	2,475,009	2,464,009	2,464,009	2,464,009	2,464,009	2,464
通知預金	137	1,837,120	1,837,120	1,874,980	1,874,980	1,874,980	1,874
貯蓄預金	139	0	0	0	0	0	0
定期預金	141	2,691,047	2,691,047	2,691,047	2,691,047	2,691,047	2,691
定期積立	148	1,660,000	1,670,000	1,660,000	1,660,000	1,660,000	1,700
受取手形	151	4,718,131	4,942,843	4,300,281	4,909,217	4,909,217	5,478
売掛金	152	14,296,610	14,334,660	12,834,660	13,042,660	13,042,660	13,027
山田商店	001	1,930,600	1,930,600	1,930,600	1,930,600	1,930,600	1,930
千代田倉庫	002	502,700	607,700	607,700	607,700	607,700	607
合計		0	0	0	0	0	0

■年度

残高を登録する年度を選択します。期中開始データの場合は「当期」も表示されます。

■過年度期首

前期・前々期の期首月を変更する場合に使用します。

■ 期末繰越

前々期末と前期首、前期末と当期首の整合性を取る場合に使用します。前々期表示中にボタンを押すと、最終列の値が前期の1列目にセットされます。前期表示中にボタンを押すと、最終列の値が【初期(S)】-【開始残高登録(4)】にセットされます。

■ 仕訳取込

前期・前々期の仕訳を取り込む場合に使用します。ボタンを押すと[過年度明細の取り込み]画面が表示されます。

■ 仕訳クリア

当期データに取り込まれている前期・前々期の仕訳を削除する場合に使用します。

■ みなし残高

税込残高から税抜残高を作成する場合、又は税抜残高から税込残高を作成する場合に使用します。ボタンを押すと確認画面が表示されます。「みなし残高を計算して登録を行う。」にチェックを付け「OK」ボタンを押して実行します。現在表示されている消費税区分(税込/税抜)がみなし計算される対象になります。税込残高から税抜残高をみなし計算する場合は消費税区分を「税抜」に、税抜残高から税込残高をみなし計算する場合は消費税区分を「税込」にして実行します。

■ 横に移動/縦に移動

カーソル移動の方向を選択します。ボタンを押すと切り替わります。

■ F2: ゼロクリア

科目名をクリックすると表示されます。登録した残高を一括で削除する場合に使用します。

■ F3~F7

「F3:資産」「F4:負債」「F5:売上」「F6:製造原価」「F7:販管費」ボタンをクリックまたはファンクションキーを押すと、各分類の先頭科目へジャンプします。

■ F8: 印刷

過年度残高確認表を印刷する場合に使用します。「発生」を選択している場合は「過年度発生残高リスト」、「累計」を選択している場合は「過年度累計残高リスト」が印刷されます。

8-17 予算登録

【分析(A)】-【予算登録(F)】

損益科目に対して予算を登録します。補助や部門の設定がある場合は、それぞれを単位として残高を登録します。登録した予算は【分析(A)】-【予算対比損益計算書(7)】や【経営羅針盤(R)】-【予算対比変動損益計算書(2)】に反映します。

■横に移動／縦に移動

カーソル移動の方向を選択します。ボタンを押すと切り替わります。

■F2:ゼロクリア

科目名をクリックすると表示されます。登録した残高を一括で削除する場合に使用します。

■F3:実績値

前年実績×増減率で予算を登録します。ボタンを押すと[対前年実績比の入力]画面が表示されます。選択科目(複数可)か全科目に対して一律に設定することも可能です。

■F4:年間予算

選択科目(複数不可)に1年間の予算を設定する場合に使用します。ボタンを押すと[年間予算]画面が表示されます。按分方法として「均等」「前年実績」が選択できます。

8-18 全科目データ出力

【分析(A)】-【全科目データ(G)】

選択期間の全科目の月末残高を集計し、Excelへ連動します。科目の使用設定に関係なく全ての科目が対象となりますので、Excel側ではレイアウトが固定され、オリジナル分析帳票を作成することができます。

科目名称	区分コード	前々期19年4月	前々期19年5月	前々期19年6月	前々期19年7月	前々期19年8月	前々期19年9月	前々期19年10月	前々期19年11月	前々期19年12月
現金	100									
現金	101	203,049	44,230	△212,056	△300,778	△44,671				
現金	102									
現金	103									
現金	104									
現金	105									
現金	106									
現金	107									
小口現金	108	0	0	0	0	0				
小口現金	109									
小口現金	110									
当座預金	111	△96,796	871,285	110,715	323,967	540,651				
当座預金	112									
当座預金	113									
普通預金	131	437,941	△36,787	△133,508	△11,900	△4,082				
普通預金	132									
普通預金	133									
普通預金	134									
普通預金	135									
普通預金	136									
通知預金	137	0	37,890	0	0	0				

■年度

「前々期」「前期」「当期」「予算」から選択します。

■BS発生、BS累計、PL発生、PL累計

チェックを付けた帳票が画面上に表示されます。

■F7:クリップボード

クリップボードへコピーする場合に使用します。

■F8:Excel

全科目データをExcelへ連動する場合に使用します。